

現場での高い自由度を実現。

基本的な作業は3ステップで完了です。

ステップ1 大引間、または根太間に仮置きします。

ステップ2 大引間、または根太間に押し込みます。

ステップ3 不織布をタッカーで大引または根太に打ち込みます。

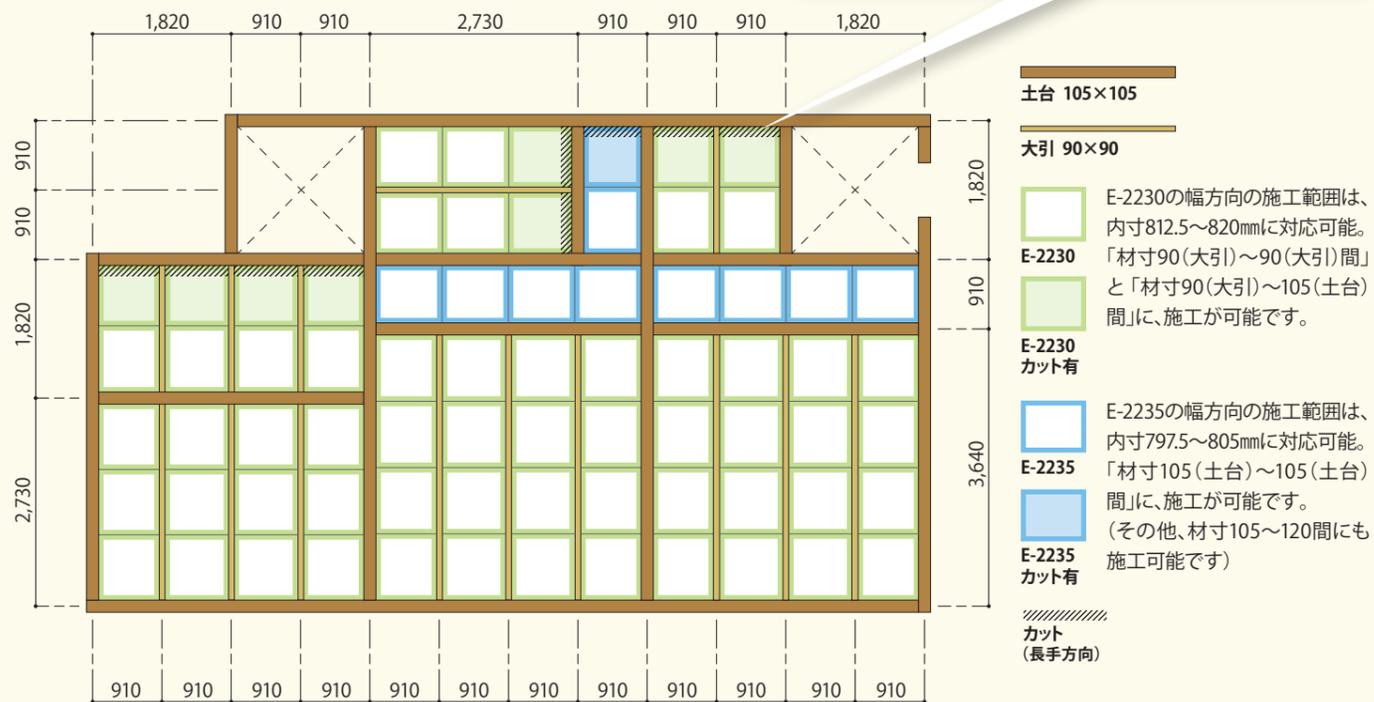
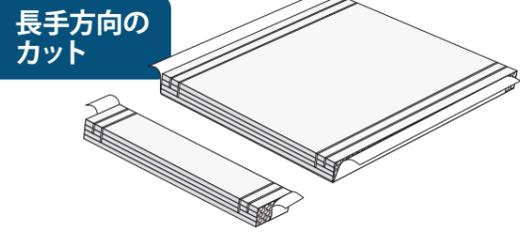
フクフォームEcoのスリットが大引と平行になるように配置してください。

根太無し工法用の場合、フクフォームEcoの中央部が大引と面になるように充填します。

タッカーは片側3箇所以上としてください。また、タッカーのピッチは300mm以内としてください。タッカーを打つ場合は製品と平行になるように打ちつけてください。

割付物件事例1 [一般組] 土台~土台、土台~大引、大引~大引間の施工範囲違いで、一般品はカットが必要! 2種類のフクフォームEco規格品を選択することで、カット数を大きく削減!

- 下記の事例は、土台105、大引90の現場です。計画は、根太無し工法でE-2230とE-2235の2種類をご採用いただきました。
- この物件事例では間崩れ部分もなく、長手方向のみの一部カットで対応できました。全体で使用した枚数計71枚のうち、9枚のカットで納められました。



必要に応じて断熱材カッターでカットも可能

不織布をはがし、不織布を切らないよう断熱材をカット。

断熱材カット後、余分な不織布を切り落とします。

●幅方向のカット

●長手方向のカット

上下のストロークを利かせてゆっくりカットする

45~60°

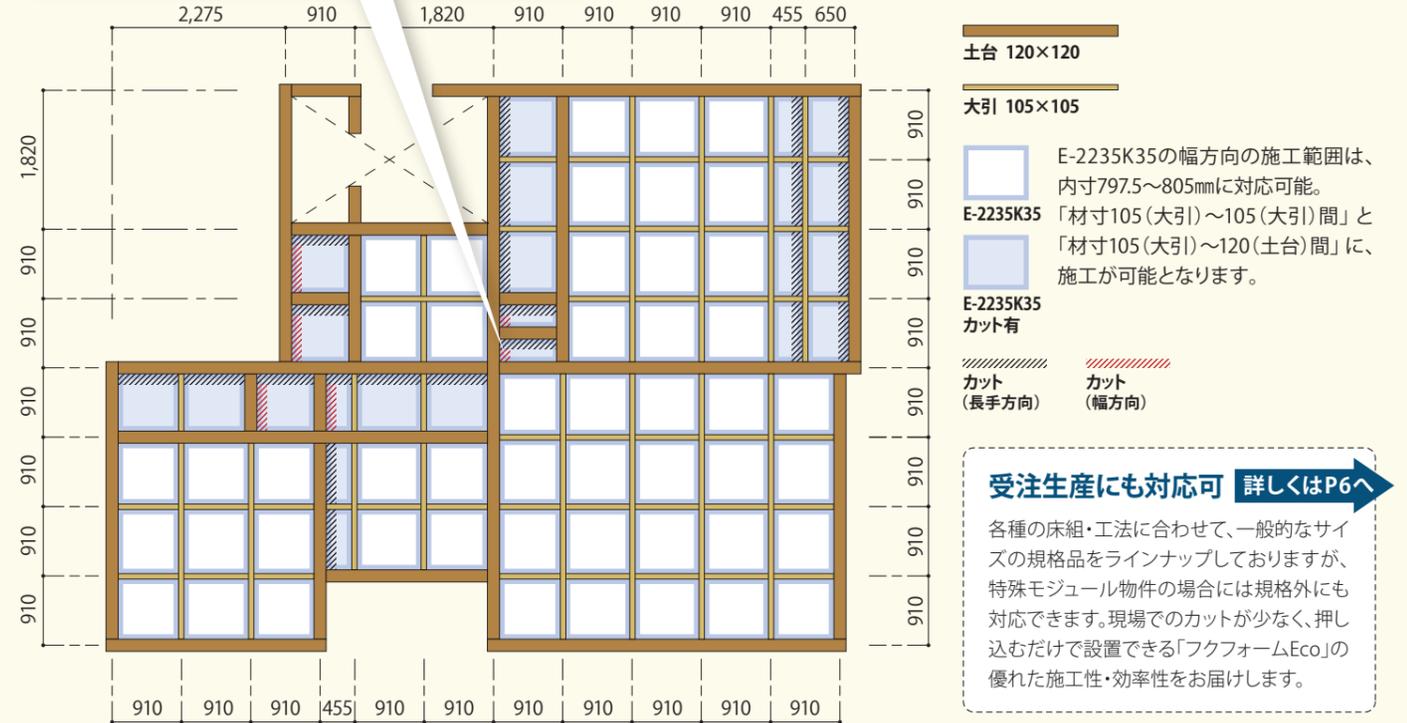
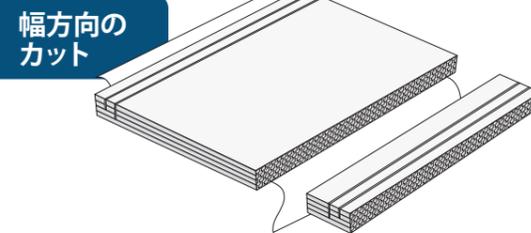
断熱材カッター DNZCTR

寸法調整などのカットには、切れ味良く出にくい、別売の断熱材カッターをご利用ください。

- 木材やコンクリートなど硬い物に当たると刃こぼれを起こしやすくなります。刃こぼれを起こすとカット性能が落ちますので、のこぎりを扱うようにEco本体を浮かせた状態でカットしてください。
- 断熱材カッターは砥石できちんと研げば、一旦落ちた刃の切れ味も一時的に復活します。

割付物件事例2 [格子組] 3×6板材であれば、全数カットが必要。フクフォームEco格子組タイプの採用で、カット数を大幅削減!

- 下記の事例は、土台120、大引105の現場です。根太無し工法の格子組で計画されており、E-2235K35をご採用いただきました。
- 格子組仕様は土台・大引で細かく区切られるためカット数が多くなります。フクフォームEcoの格子組タイプを選択することで、全体で使用した枚数計72のうち23枚のカットで納められました。カットしたうちの13枚は間崩れ部位の対応ですから、特殊寸法がなければ10枚程度のカットで対応できることになります。



受注生産にも対応可 詳しくはP6へ

各種の床組・工法に合わせて、一般的なサイズの規格品をラインナップしておりますが、特殊モジュール物件の場合には規格外にも対応できます。現場でのカットが少なく、押し込むだけで設置できる「フクフォームEco」の優れた施工性・効率性をお届けします。